



2019年9月30日

内閣総理大臣 安倍晋三様
衆議院議長 大島理森様
参議院議長 山東昭子様

即位および大嘗祭の一連の儀式に関する抗議声明

公益財団法人 日本 YWCA
会長 藤谷佐斗子
総幹事 尾崎裕美子

私たち日本 YWCA は、2019年10月、11月に行われる「即位の礼」および「大嘗祭」の一連の儀式に関して以下の意見を表明します。

かつて、「平成」への代替わりの儀式に際して当時の日本政府は、明治憲法下の旧皇室典範と登極令を踏襲した形式を採用し、1990年11月22日の即位礼では新天皇を「天照大神の玉座」に立たせ、さらに「大嘗祭」を挙行了しました。これは天皇が即位後、初めて新穀を天照大神と天神地祇(あらゆる神々)に供え、自らも食する一代一度の新嘗の儀式で、かつては、「天皇霊を受けて現人神となるため」の最重要の宗教儀式でした。今秋には、この儀式がそのまま新天皇に引き継がれて挙行される予定です。

1995年の大阪高裁判決は大嘗祭と即位礼正殿の儀への国費支出を「ともに憲法の政教分離規定に違反する疑いは否定できない」と指摘しました。大阪高裁判決から24年を経て、政府は新天皇の大嘗祭を再び国費で行おうとしています。関係経費は27億円を超え、前回より5億円近く膨らむと報道されています。

私たちは、皇室の私的な宗教行事である「即位の礼」と「大嘗祭」を、現政権が国民統合のために利用し、結果、莫大な税金を使って国家行事として行うこと、憲法に保障されている「信教の自由」と「政教分離の原則」を侵そうとしていることに強く抗議します。

私たちは、キリスト教を基盤に活動しています。しかしアジア・太平洋戦争時に、日本のキリスト教会はその信条を曲げて、天皇を神とし戦争に協力しました。日本は韓国と中国をはじめとする東アジア諸国を侵略して多くの人々の人権を侵害し、かけがえのない生命を奪ってきました。昭和天皇はその戦争の最高責任者でしたが、その責任を取らず謝罪もせず、占領政策の便宜と一致した天皇制は継続されました。私たちはこれらの過ちに対し、深い反省に立って同じ過ちを繰り返さないことを誓いました。

以上により、私たちは「即位の礼」と「大嘗祭」を国家行事にすることに、断固反対し、これに抗議します。